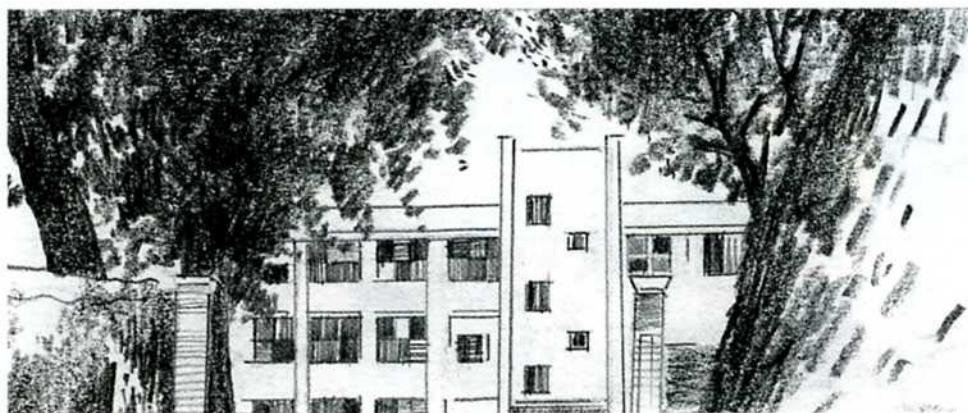


かじき木だより



「入りたい高校」の追及

校長 上今 常雄

三三三名の新入生、十九名の新しい先生方を迎へ、平成二十一年度の加治木高校が新たな陣容でスタートしました。生徒たちは勉学の意欲はもとより、部活動の入部率も約八割と高く、文武両道の実現を目指して一心不乱に努めています。

また、先日生徒会の新執行部も発足し、本年度生徒会のスローガンとして「ひつ跳べ 加治木鳥！」と進取の気性に富む加高生を掲げました。さらなる前進、加治木高校を象徴するフレーズであり、うれしく思っております。

私は、今年度の目標の一つに、校の具現化を通して、志の高い品格ある加治木高校生の育成を掲げてい

PTA活動に寄せて

PTA会長 鎌田 一典

去る五月十二日のPTA総会におきましてご承認をいたしました。この度会長職を務めさせていただきます。

がれ育まれてきた加治木高校の校風を汚さぬよう、そして永い伝統の中積み上げられてきた知徳を磨き、体を鍛える文武両道の加治木高校生気質を堅持してゆけるよう、生徒の皆さん環境づくりに腐心してゆきたいと思うところです。

加治木高校に隣接する島津義弘公ゆかりの護国神社に掲げてる横断幕には、「負けるな、嘘をつくな、弱い者を苛めるな」の文字があります。加治木高校の校はである「清新流刺、質朴剛毅、堅忍不拔」もそうですが、私が思うにこれらはいずれも薩摩の郷中教育を色濃く反映した言葉だと思います。日本の近代史を支え、多くの偉人を輩出した薩摩人は育ててきた背景には、この郷中教育があつたからではないかと私は思うのです。よつとしましては、この校はを常真摯にそして精一杯取り組んでゆく所存です。

からのPTA活動において、保護者の皆様方や学校の先生方のご支援ご協力を賜りながら、本校の生徒達がより良い学校生活を送れるよう、今後の活動を進めて行くことはもちろんですが、学校創立後百余年の歴史を刻み、代々受け継

第19号
2009.7.17
加治木高等学校
PTA発行

〒899-5214
鹿児島県姶良郡加治木町
仮屋町211番地

校長・PTA会長あいさつ P1
職員紹介 P2~5
各部及び生徒会より P6~7
部活動大会入賞記録 P8

ます。
島津義弘公の居城跡に創られた学校、全国的にも極めてめずらしい「城壁の中にある高校」、旧制加治木中学校創立以来、歴史を重ね本年で百十二周年目を迎える伝統校であります。この加治木高校で過ごす高校生は、品格ある高校生であつて欲しい、そう念じております。

大事なことは、校は「清新流刺」「質朴剛毅」「堅忍不抜」を実際の生活中に生かしていくこと、校はの具現化であります。私は、生徒たちの元気な挨拶、純真な氣性、服装等容儀面など良いところは大いに評価をしています。これから課題としては「堅忍不抜」、最後まで頑張りぬく忍耐強さをどう身につけていくか、どうも思っています。部活に集中力を持つて取り組む、毎日十分でも活字を追う読書を習慣づける、そしてどんなにきつとも本分である勉強はきちんとやる、そういったことを積み重ねることで、身についていくものと期待しています。

加えて、昔からよく使われてきた「加治木ガラスの気性」とは、「進取の気性」に富んでいることを意味しています。「進取の気性」に富むとは「現状に満足することなく、向上心を持つて新しいことにチャレンジすること」であります。私は、校はの具現化と共に、この「加治木ガラス」の気性も品格ある生徒として身につけ欲しいと常々思っています。

もう一つの目標は、県内有数の進学校として、その実績をきちんと出すことです。それは、さらなる公立大学をはじめとする進学率の向上と難関大学合格の達成であります。校はが伝統校・進学校として、最終的に評価される所以はここにあります。

品格ある生徒づくり、大学進学等の出口の達成を図ることで、地域から信頼され、地域の子ども達が、さらには「入りたい加治木高校」になると信じております。

今後とも、校はのさらなる前進に向けて、ご支援をよろしくお願いいたします。

れられたJ・O・B（室内楽にのせて贈る本の樂曲）に初めて参加してみました。フルート三重奏に始まり、最後のミュージカルナンバーの独唱に至るまで約二時間程の中にブックトーキーやコーラス、音楽演奏を織り交ぜ」とても充実した時間を過ごさせていただきました。今回で十六回目になるというこの催しは、保護者や地域の方々にも開放しており、図書室は入りきれない程の大勢の人々で、皆さん非常に楽しみにされている様子をひしひしと感じることができます。読書と音楽は、これから生徒達の豊かな感受性と自己表現の能力を育み、気品と徳性を培すばらしい世界だと思います。このようない取り組みがこれからも続けられることで、單に学力だけでなく人間として魅力のある人間形成の場となるよう、私共PTAとしても側面から支援してゆければと思う次第です。

ところで、六月三十日高校の図書館で開催さ

初心忘るべからず

生徒指導部 是枝忠彦

早いもので、平成二十一年度も一学期が終わろうとしている。この一学期、生徒の皆さんは毎日の授業はもちろん、一日遠足、勤労体験学習などの学校行事や部活動など、さまざまなことに取り組み、その中で充実した学校生活を築いてきたことと思う。一学期を終えるにあたり、学習面だけでなく学校生活全体について、満足のいくものであつたか、一人振り返つてほしい。

その際思い出してほしい言葉が、「初心忘るべからず」というものである。これは、何事もそれをはじめたときの謙虚で新鮮な気持ちを忘れるな、という意味でよく用いられる名句である。

この言葉を最初に使つたのは、室町時代初期に活躍した、能役者・能作者として知られる世阿弥である。世阿弥の著作は、今の私と同じ年齢の頃に書いた『風姿花伝』や、彼が六十歳を過ぎて厳しい芸道を追求した末に書き上げられた『花鏡』が有名である。そしてこの名句が記されているのが『花鏡』であり、その中で世阿弥は次のように述べている。

「初心忘るべからず。

此の句、三ヶ条の口伝あり。

是非の初心忘るべからず。時々の初心忘るべからず。老後の初心忘るべからず。

此の三、能々口伝すべし。」

ここで世阿弥は「初心」を三つに分けてい る。まず「是非の初心」である。これは、何事も芸をはじめた最初の頃は失敗することが多いが、その失敗を覚えておくと後々役に立つという意味で、現在よく言われるのはこの意味である。次に「時々の初心」である。これは、それぞれの時期に応じた新たな試練に臨む心構えであつて、それら



勤労体験学習（1年生）

この句、三ヶ条の口伝あり。
是非の初心忘るべからず。時々の初心忘
るべからず。老後の初心忘るべからず。
此の三、能々口伝すべし。」

ここで世阿弥は「初心」を三つに分けてい る。まず「是非の初心」である。これは、何事も芸をはじめた最初の頃は失敗することが多いが、その失敗を覚えておくと後々役に立つという意味で、現在よく言われるのはこの意味である。次に「時々の初心」である。これは、それぞれの時期に応じた新たな試練に臨む心構えであつて、それら



一日遠足（3年生）

この句、三ヶ条の口伝あり。
是非の初心忘るべからず。時々の初心忘
るべからず。老後の初心忘るべからず。
此の三、能々口伝すべし。」

ここで世阿弥は「初心」を三つに分けてい る。まず「是非の初心」である。これは、何事も芸をはじめた最初の頃は失敗することが多いが、その失敗を覚えておくと後々役に立つという意味で、現在よく言われるのはこの意味である。次に「時々の初心」である。これは、それぞれの時期に応じた新たな試練に臨む心構えであつて、それら

を時期ごとに会得することによって芸は完成するとしている。最後に「老後の初心」である。今まで学んできたことは別に、老年になつて老年にふさわしい芸を身につけるのは初体验であり、いわば老後の初心である。

この中で、生徒の皆さんに意識してほしいのは、「時々の初心」である。これを加治木高校生にあてはめると、入学したとき、または二・三年生に進級したときのその時期ごとの「初心」を常に意識することで、人間美学を完成することができる、といえるのではないか。この一学期、日々の学習や部活動に追われて忙しい毎日を過ごす中で、その時々の初心を忘れないだろうか。あるいは、いつの間にか初心を捨て去ってしまい、易き方へ流されてしまつていなかろうか。一学期末という節目に、自分の「時々の初心」とはどういうものであつたかをぜひ振り返つてほしい。そして、活動がこれまで以上に充実したものになるよう努力してほしい。

「オリソビックで金メダルを取るために、実力だけでは勝てない。運も必要だ。例えば強化合宿中、率先して宿舎のトイレ掃除をする。事故に遭つた猫などが路上にそのまま放置されているのを見かけたら、懇ろにどこかへ埋めてあげる。人知れずそんなことをするうちに心が磨かれ、人としての品格の高さまで潔い始める。「さすがだね。あの人大つたら金メダルを取つてもおかしくないね」「みんな人に勝つてもらいたいね」そう言われるようになると「運」も味方になる。「自分で運を身につける」事も出来るのではないか。だから「運も実力のうち」なのだと思う。」

「自分で運を身につける」ためにこれをすればよいというのはないのかもしれないが、毎日の生活中でちょっととした心掛けを実践してみてはどうだろうか。例えば、相手が誰であろうと心を込めて明るく挨拶をする。清掃の時間はどこよりも綺麗にしようと集中して作業する。放課後、自習で皆が真剣に取り組んでいるときに自分勝手

自分で運を身につける

進路指導部 北 浩憲

「あんな子たちには受かつてもらいたいね。」昨年の夏の郷中ゼミ終了後、自分が使用した教室を一生懸命掃除している加治木高生を見ながら、他校の先生が私に言われた言葉だ。聞けば、その時の郷中ゼミに参加した加治木高生は、生活態度だけでなく、授業に取り組む姿勢も全ての参加者の中で特に評価が高かつたという。

心が浮き立つような状況の中で、私は以前聞いた鹿屋体育大学の田口信教先生の講話を思い出していた。先生は「ミュンヘン・オリンピック大会百メートル平泳ぎで優勝された金メダリストである。講話の中でこのような話をされた。

「オリソビックで金メダルを取るために、実力だけでは勝てない。運も必要だ。例えば強化合宿中、率先して宿舎のトイレ掃除をする。事故に遭つた猫などが路上にそのまま放置されているのを見かけたら、懇ろにどこかへ埋めてあげる。人知れずそんなことをするうちに心が磨かれ、人としての品格の高さまで潔い始める。「さすがだね。あの人大つたら金メダルを取つてもおかしくないね」「みんな人に勝つてもらいたいね」そう言われるようになると「運」も味方になる。「自分で運を身につける」事も出来るのではないか。だから「運も実力のうち」なのだと思う。」

十代最後の試練、大学受験に向けて努力している諸君だからこそ、それが出来るか出来ないかが大きな意味を持つと思う。学生のことをすれば良いのではないだろうか。誰か人が見ているかどうかは問題ではない。そうした行為は自分自身がわかっているのだから。

十代最後の試練、大学受験に向けて努力している諸君だからこそ、それが出来るか出来ないかが大きな意味を持つと思う。学生のことをすれば良いのではないだろうか。誰か人が見ているかどうかは問題ではない。そうした行為は自分自身がわかっているのだから。

力で実力をつけるのはもちろん必要な事だが、「自分で運を身につける」事も実は一つの突破口かも知れない。最後に、つい忘れがちであるが、保護者への感謝の気持ちも忘れないで欲しい。

力で実力をつけるのはもちろん必要な事だが、「自分で運を身につける」事も実は一つの突破口かも知れない。最後に、つい忘れがちであるが、保護者への感謝の気持ちも忘れないで欲しい。

なことをしない。混雑した列車やバスの中でご老人等が立つておられたら率先して席を譲る。何かで困つている人を見かけたら救いの手を差しのべる。ゴミが落ちていたら拾う。特別なことをするのではなくて、自分の「素直な心」にしたがつて当たり前でなく、授業に取り組む姿勢も全ての参加者の中で特に評価が高かつたという。

前聞いた鹿屋体育大学の田口信教先生の講話を思い出していた。先生は「ミュンヘン・オリンピック大会百メートル平泳ぎで優勝された金メダリストである。講話の中でこのような話をされた。

「オリソビックで金メダルを取るために、実力だけでは勝てない。運も必要だ。例えば強化合宿中、率先して宿舎のトイレ掃除をする。事故に遭つた猫などが路上にそのまま放置されているのを見かけたら、懇ろにどこかへ埋めてあげる。人知れずそんなことをするうちに心が磨かれ、人としての品格の高さまで潔い始める。「さすがだね。あの人大つたら金メダルを取つてもおかしくないね」「みんな人に勝つてもらいたいね」そう言われるようになると「運」も味方になる。「自分で運を身につける」事も出来るのではないか。だから「運も実力のうち」なのだと思う。」

十代最後の試練、大学受験に向けて努力している諸君だからこそ、それが出来るか出来ないかが大きな意味を持つと思う。学生のことをすれば良いのではないだろうか。誰か人が見ているかどうかは問題ではない。そうした行為は自分自身がわかっているのだから。

十代最後の試練、大学受験に向けて努力している諸君だからこそ、それが出来るか出来ないかが大きな意味を持つと思う。学生のことをすれば良いのではないだろうか。誰か人が見ているかどうかは問題ではない。そうした行為は自分自身がわかっているのだから。

新型インフルエンザの流行で感じたこと

保健部 富田耕作

ると感じる。

新型インフルエンザがメキシコで発生し、流行しているという報道を耳にしたとき、それは遠い国で起こっている出来事であつて、自分たちには関係のない事ととらえていた人々は少なくなかつたのではないかと思う。しかしながら、瞬く間に感染は拡大し、ついには鹿児島県にまで感染者が発生した。

何かにつけ自然の営みに反して生きる私たちは、常にそれなりの対価を支払い続けている。栄養価の高い肉を食するためには鶏や養豚をし、代わりに感染症という対価を支払う。ひたすら生産と消費を拡大し続ける代わりに、地球環境の悪化という対価を支払う。こうした人間の存在などといぶん危ういものだと思うが、今度は新型インフルエンザの宿主となつてみて、あらためて自然の営みの抗しがたさを感じる。

新型インフルエンザが取り沙汰されるのは、地球全体のグローバル化により、人や物の移動が大規模になり、なかなか検疫などで流行をくいとめることが難しいこと、この新型は、ある日爆発的な流行を引き起す可能性（怖さ）を秘めていること、科学者たちの間でも確実にこのウイルスが台頭して大流行を引き起こすと懸念（予測）していること、新型ウイルスが発見されたときにマスクが大騒ぎしがちであるためである。

だからこそ、私たちはこの情報化社会のなかで、情報に煽動されることなく、確かに（信頼される）情報をしっかりと見極めが必要があり、それは日常生活のあらゆる場面で必要となつてくる。自分にとつての確かな情報を取捨選択できるスキルをかねてから（学校生活）で培うことが大切である。



救急法講習会



歯科講話

また、私たちは急速な社会情勢の変化に対応しつつ、つねに、すべての人々の平和と繁栄を願つて生活していくなければならない。そのためには、なんといっても健康を保つことが大切である。将来、健康を保つためには、やはり高校生の時期から充分に心身を鍛えていくべきだと感じる。

生徒会で学んだ「感謝」の気持ち

前生徒会長 上園歩美

今しか出来ないことがあると言うが、高校生活の中で、それは特に多いと思う。私は、生徒会長に任命して頂いてから一年間、意見箱の設置、ボランティア活動への参加、鞄改善運動の活性化と、思いついたことをどんどん取り入れながら活動してきた。文化祭や体育祭も龍門祭と名前を変え、伝統と誇りの精神を引き継いだ素晴らしいものとなつた。そうして全校生徒で作り上げてきたものが、今では私の宝物であり、大きな自信となつている。

思い返すと一年前、一人では何も出来ない私が生徒会へ入ったことは奇跡のような出来事だった。周りの期待になかなか応えられず焦ることもあつたが、沢山の仲間と出会い、皆に支えられ頑張ることができた。そして、役目を終えた今、協力の大切さと感謝の気持ちを改めて強く感じる。一年間、一度も生徒会が嫌になつたり、やめたいと思うことはなかつた。毎日が新鮮で、いつも発見や喜びにあふれていたようだ。

そして迎えた辞任の日、私はあの日を一生忘れない。辞任の挨拶を終えた時、壇上の私達旧生徒会役員には温かい拍手が送られた。とても幸せな気持ちになつた。私はまさにこの日の為に頑張つてきただのと思った。そして、私も皆に感謝の拍手をしたくなつた。この一年は私にとって本当に貴重で忘れられないものである。今まで応援してくれた皆さんに心の底から「ありがとう」と言いたい。今のがあるのは皆のおかげだ。

そして次は、浦本君率いる新生徒会の活躍を期待し、応援したい。一年間、本当にありがとうございました。

目指す学校

生徒会長 浦本崇志

このたび、上園会長の後を繼いで新しく生徒会を率いることになりました、浦本崇志です。私が生徒会に入った理由は、昨年には部室も完成して文武両道を目指して多くの人が日々精進しているこの加治木高校を、もっと行事で盛り上げ、多くの人が積極的に行事参加する学校にしてもらいたからです。そのための私の公約は、「生徒との距離が近い生徒会」です。生徒会が赤い羽根募金のよう、何か学校をあげての活動をしようとするとき、生徒がそのことを理解し、積極的にリアクションをとるような学校を目指したいと思っています。

会長になってから、とても多くの人に話しかけられるようになりました。その内容の多くは今、生徒会が取り組んでいる事やクラスマッチの事についてです。話しかけられることで、私自身が会長である事への自覚が生まれ、また人から意見をもらうことで、その活動の「質」を上げることが出来ると思つています。これからも多くの人々に話しかけてもらつて、私自身が意見箱のような存在になれるようになります。

私が生徒会役員になることができたのは、素晴らしい応援演説をしてくれた友人は、素晴らしい応援演説をしてくれた友人をはじめとする、多くの人の支えのおかげだと思っています。支えてくれた人々やこれから活動に期待をしてくれている人のためにも、みんなの意見を大切にします。

部活動大会参加及び入賞記録

体育部門

始良・伊佐地区春季大会

▽ 水泳	400m 走	400m 高跳	400m R	1600m R	800m R	400m R	200m R	100m R
m m m m m m m m m	m m m m m m m m m	m m m m m m m m m	R R R R R R R R R	m m m m m m m m m	m m m m m m m m m	m m m m m m m m m	m m m m m m m m m	m m m m m m m m m
背平男	背平男	背平男	F M	背平男	背平男	F M	F M	F M
男男女	男男女	男男女	R R	男男女	男男女	R R	R R	R R
入佐2位	津曲2位	津曲2位	男子3位	喜田1位	松山2位	今藤・室屋・三角・美座	2位	女子3位
男子3位	男子3位	女子3位	女子3位	喜田2位	松山2位	今藤・室屋・三角・美座	2位	女子3位

県内大会	
▽ ハンドボール	高校総体 優良賞
▽ バレーボール	高校総体 優良賞
▽ フットサル	高校総体 優良賞
▽ ソフトボール	高校総体 優良賞
▽ 陸上	男子総合第2位
▽ 野球	男子シングルス 優勝
▽ ベースボール	男子ダブルス 優勝
▽ フットサル	男子ダブルス 優勝
▽ バドミントン	男子シングルス 優勝
▽ ラグビー	男子ダブルス 優勝
▽ 新体操	女子ダブルス 優勝
▽ 空手道	個人形 優勝
▽ ラグビー	第5位
▽ 新体操	女子ダブルス 優勝
▽ 空手道	個人形 優勝
▽ ラグビー	第5位
▽ 新体操	女子ダブルス 優勝

全国高校野球鹿児島大会

7月8日(水)2回戦 加治木高校が鹿屋工業を2対1で制した										
TEAM	1	2	3	4	5	6	7	8	H E	
加治木	0	1	0	0	0	0	0	1	2	6-1
鹿屋工業	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1-2
得点										
出場選手登録										
監督										
選手										



野球部:監督 森口洋 是枝忠彦 廣瀬裕二 斎野敦~黒岩鶴池野球場で撮影

▽ 柔道 男子団体 他校との合同チームで3位

▽ 陸上 高校総体 男子 800m 濑戸口5位

▽ 水泳 春季大会 男子走高跳 安永・藤原・福留・豊 5位

▽ バドミントン 男子ダブルス 田原・福留 ベスト8

▽ ラグビー 高校総体 男子ダブルス 有川 ベスト16

▽ テニス 高校総体 男子団体3回戦 ベスト16

▽ 弓道 高校総体 男子団体3位 前田 2位

▽ 陸上 高校総体 男子60kg級 前田 2位

▽ 柔道 高校総体 男子・女子4回戦 ベスト16

▽ 陸上 高校総体 男子・女子予選敗退

▽ バドミントン 男子ダブルス 富・井尻 2位

▽ ラグビー 高校総体 女子ダブルス 佐藤 ベスト8

▽ 空手道 高校総体 女子ダブルス 川畠 優勝

▽ テニス 高校総体 男子ダブルス 有川 ベスト16

▽ 陸上 南九州大会出場 男子800m (瀬戸口)

▽ 柔道 九州大会出場 男子走高跳 (松山)

▽ 空手道 九州・全国大会出場 男子60kg級 前田

▽ ラグビー 九州・全国大会出場 女子走高跳 (松山)

▽ 文化部門

県外大会

▽ 国際親善 英語弁論大会 優秀賞 長田玲奈

文化部門



全国・九州・南九州大会壮行会

▽ 空手道 個人形 川畠 優勝

▽ 陸上 南九州大会出場 男子走高跳 (松山)

▽ 柔道 九州大会出場 男子60kg級 前田

▽ 空手道 九州・全国大会出場 女子走高跳 (松山)

▽ 文化部門